

聖化

Japan Holiness Association

[発行] 日本聖化協力会

2023.4.28
No.69



土の器の中にある宝

山形聖化交友会会長

岡 摂也

教団教派を超えて聖潔を求める「聖化大会」が、各地で行われていることに感謝します。聖化協力会は、土の器である私の中に納められている宝です。「私たちは、この宝を土の器に納めています。計り知れない力が神のものであって、私たちから出たものでないことが明らかになるためです。」(II コリント四・七)

1 土の器を用いられる主

パウロは、私たちクリスチャンを「土の器」にたとえています。神は、大切な宝を入れてくださるために、私たちを造り変えてくださるお方です。

エレミヤ一八章に、神様がエレミヤを陶器師の所に連れて行ったことが書かれています。その陶器師は、粘土をこねて陶器を作りますが、仕損じてしまったので、もう一度練り直して、新しい陶器を作りました。陶器師が、その手の中で粘土を練り直すように、私たちが造ってくださった神様は、私たちが造り変える事のできるお方です。

2 聖い器を用いられる主

第二テモテ二・20、21には、器には様々な器があるが、それらが用いられるためには、きよい器でなければならないことが書かれています。

土の器は、金や銀の器と比べると見劣りする器

で、決して高価な器ではありません。ただ、用いられるためには、「聖い器」でなければなりません。神様に用いられるためには、外側も内側も(心も生活も)「きよめられた器」になることを主は求めておられるのです。イエス・キリストは、私たちの罪を赦し、きよめるために十字架で尊い血潮を流してくださいました。

3 土の器の中にある宝

7節に「私たちは、この宝を土の器に納めています」とあります。パウロは、土の器に3つの宝が隠されていると書いています。

- ① 神の言葉(6節)
- ② 信仰による希望(8節)
- ③ 内住のキリスト(14節)

私たちは空っぽになった土の器に、神の言葉、信仰による希望、内住のキリスト、という宝をいただいています。これに勝る宝はありません。そして、イエス様と共に歩む道は、本当に素晴らしい人生です。土の器の中にこのように宝を与えてくださる主に感謝をささげ、主の栄光をあらわす器として用いていただきたいと心から願う者です。

今年も各地で「聖化大会」が行われます。聖潔を求めて、聖化大会にご参加ください。神は土の器に宝を満たさうとあなたを待っております。

もくじ

| | |
|------------------|-------|
| ● 巻頭言メッセージ | p.1 |
| ● 2023年聖化フォーラム講演 | p.2-3 |
| ● きよめの証し | p.4-5 |

| | |
|--------------------|-----|
| ● ブラウン博士説教 URL 紹介 | p.6 |
| ● 事務局からのお知らせ | p.7 |
| ● 聖化大会日程、書籍案内、編集後記 | p.8 |

歴史的展望

加いただくことができ感謝でした。テーマは「ホーリネスの歴史的展望」。たいへん興味深いテーマで、講演後のグループに分かれてのディスカッションも大いに盛り上がりました。

宗教改革からウェスレーまで

日本イエス・キリスト教団 香登教会牧師

工藤 弘雄 師



十六世紀の宗教改革運動から、清教徒運動、敬虔主義運動を経て十八世紀のウェスレーらのメソジスト運動へ聖化はどのように理解され、展開されたであろうか。まず、宗教改革期における対照的なルターとカルヴァンの聖化理解を考察したい。

ある。ただその聖化論には聖書が一貫して主張する「罪からの救い」を「罪の中の救い」に留まらせる危険性はなにか、位置と現実との聖の整合性において以後問い続けられることになった。カルヴァンにおける聖化論

宗教改革運動に続くピューリタン運動やパティズム運動において、聖化の歴史的展開は「浄化」や「敬虔」の形において展開された。ただ大枠から言えば前者はカルヴァンの聖化理解、後者はルターの聖化理解の枠組みの中で展開されたと言える。ウェスレーの聖化論はそれまでの聖化論を止揚する形で展開された。ルター同様に信仰

められることを切に求めた修道士ルターにのぞんだ御言葉が「義人は信仰によって生きる」(ローマ・17)であった。彼はここにおいて聖化を義認の条件とするカトリックの聖化論からコペルニクス的大転回をした。それは全てのキリスト信者にホーリネスの道を開くことになった。彼によれば信仰者は全て「キリストにある」という「位置」において完全であり、信仰のみによって「転嫁された完全」が与えられるとした。こうした聖化の概念は次のようなキーワードで表現される。「キリスト者生涯の成長はキリスト者生涯のはじめに戻る」と、「あたかも神学」、「罪人であり同時に義人」、「位置的聖化」、「外側からのきよめ」、「キリストにあつてのきよめ」、「転嫁的聖化」などで

カルヴァンの聖化の概念はルターのそれとは根本的に異なる。彼によれば、キリストの義は信仰者に転嫁(impute)されるだけでなく、分与(impart)される。義認と聖化は二重の祝福となつて進む。真の意味での悔改めは人が新生したところから始まる。その悔改めの実践が、自己を否定し、十字架によって古き自己を殺すことであり、聖霊に満たされ続けることである。ただしキリスト者は漸進的に聖化されて行くが、地上において肉体を宿している限り、全き聖化に達することはできない。こうした聖化理解の流れの中で、聖霊の満たしによる実践的聖化を高調した者も少なくない。ただルターやカルヴァンにおける罪と肉体とは不可分であるとの概念は、聖書的であるというよりギリシア的であるとグレートハウスは批判している。

新生を強調した。信仰者の罪理解もカルヴァンとウェスレーとは同様の理解であったが、決定的相違は、罪が支配する(reign)か、罪が残る(remain)か、罪が死に至るまで継続するか、罪から全く救い出されるかであった。ウェスレーにおいては「罪を排除する愛」による完全を主張し、全き愛が聖化された者の心に「宿る」だけでなく、「支配する」と言い切った。そして宗教改革の「信仰のみ」の原理に立って、信仰による聖化を説き、きよめは信仰により瞬間的に与えられ、同時に漸進的に成長すると確信した。聖化理解の歴史的進展、重層的再発見は興味深い。

特集 ホーリネスの

3月6日の日本聖化協力会評議員会の折りに第6回「聖化フォーラム」を開催しました。コロナもようやく沈静化し、ハイブリッドで開催されました。全国から参



ウェスレーから現代まで

イムマヌエル綜合伝道団 福岡キリスト教会牧師

國重 潔志 師

きよめについては、全き愛、全的献身と全的信仰、自我の死（自我の磔殺）、罪性の根絶、聖霊のバプテスマ、聖霊の満たし、あるいは神との全き関係などといった用語、あるいは切り口がある。これらは、きよめ派の祖であるウェスレーにおいて一斉に言われるようになったのではなく、時代を経るにつれ一つずつ加わり、今日に至っている。

ウェスレーの活動した英国では、さまざまな神学的伝統が複雑に展開されていた。そうした諸伝統の対立の中でウェスレーは愛を中心としたきよめ信仰を訴え、これがメソジズム神学の核心となった。

一方、米国においては個人の自由な選択を重んじる風潮が強かった。こうした状況の中で、常に神の側を選び自らをキリストの十字架という祭壇にささげ続けるという祭壇神学（全き献身）が提唱されるようになった。

やがて南北戦争が起き、これが米国内きよめ派の世界観を大きく変えた。内戦を経験した米国きよめ派は、人の努力によってではなく天よりの奇蹟的介入によってのみ事態は変わるという世

界観が変わった。これがきよめ観にも影響し、天からの聖霊の傾注によって人は変わると訴えられるようになり、きよめのイメージが十字架からペンテコステに移り、聖霊のバプテスマが主張されるようになった。

この前後から、既存の教団から離別して真理を徹底して追及することが尊ばれるようになった。その流れで死を通してのきよめが訴えられ、自我の死がきよめで言われるようになった。

さらに、死のモチーフに込められた完全なる決別というアイデアが、罪性の根絶というきよめ理解に発展していった。

米国できよめ派が盛り上がる中、このきよめ運動が英国に逆輸入され、ケズリック・コンヴェンションが始まった。そこではプロテスタント靈性の王道である聖霊の満たし、聖霊による歩みが強調されるようになった。

二十世紀神学で神との関係というアイデアが大きく注目される中、きよめを信仰者の中になされたものではなく、神と自分との関係という角度から論じていく切り口が出てきた。

現代の我々は、こうして重層的に積

み上げられてきたきよめ理解を持っている。これが意味することは少なくとも3つあると考える。

これらのきよめ理解は、どれも聖書の根拠があり、またそれぞれの理解を通して素晴らしい神経験をした人たちがいる。それゆえに、自らの理解するきよめ理解の切り口とは異なる切り口を安易に批判するのは控えるべきであろう。

これは即ち、自らの確信している切り口のみならず、さまざまな切り口を用いる柔軟さも必要であろう。人のおかれている状況や辿ってきた道筋は千差万別である。それぞれの人に最も適した切り口を神が用いておられる神の柔軟さに我々も合わせるべきであろう。最後に、英米の教会が直面してきた状況の中できよめの切り口がさまざまな角度から開かれてきたように、カドーシ（聖、神のみ）で生きる歩みに取り組む我々が、現代日本のクリスチャンに合う切り口の探求を積極的に追求し続けるべきであろう。



クリスチャンホームに生まれた私は、毎週日曜日家族といっしょに礼拝へ行くことを当然のこととして育ちました。そして16歳の時、「これからの人生もイエスさまと共に歩み続けたい」と思って洗礼を受けましたが、その頃はまだ自分の罪についてよくわかっておらず、幼い信仰であったと思います。

*

それから10年ほど経った頃、自分の将来や使命に関して思い悩むことがありました。願う道が開かれず、大きな壁が行く手を塞いでいるように感じて、戸惑いながら祈りました。もっと上手な言葉で熱心に祈ったら神様は聞いてくださるのかなと思いましたが、事態は進展しません。「わたしはあなたの願いを知っている。しかしそれはあなたのための最善ではないよ」と神様が言っておられるようでした。

そこで「みどころが違うところにあるなら、それを教えてください」と祈りました。どこに向かうのかを知って安心しなかったのです。しかし神様は「あなたは見たら信じると言うのか？ それではトマスと同じではないか。本当に私を信頼しているなら、見ないで信じることができるのではないか？」と言っておられるようでした。神様を信じるとは、信頼して従って行くこと。自分の手に握っているものを手放して、神様に明け渡すこと。頭ではわかっている、先が見えないのはとても不安でした。そのうち、我を張って神様に反抗している状態が聖書の言う罪なのだと思ってきました。真面目に礼拝出席しきちんと献金し奉仕に励んでいても、それは立派なクリ

私のきよめの証し

信頼し従う時に開かれる道



チャーチ・オブ・ゴッド春日井栄光キリスト教会牧師

関なおみ

スチャンであることの証拠にはなりません。信じていると言いながら目の前のことで右往左往している私の信仰は、なんと弱々しいことでしょうか。

しかし、神様はそのような私を見捨ててはおられません。けれど、「そういうあなたのことを私はよく知っていますよ」とイエス様は言われます。救いは自分の努力によるのではなく、ただただ神様のあわれみと恵みによるのだとわかりました。

「神はそのひとり子を世に遣わし、その方によって私たちにいのちを得させてくださいました。それによって神の愛が私たちに示されたのです」(Iヨハネの手紙四章9節)

これほどまでに大きな愛が私に向けられていたと知って感謝の気持ちで心がいっぱいになった時、私の思いと人生を神様の御手にお委ねするのは難しいことではなくなりました。そして「この先に何が待っているのかわかりませんが、どうぞあなたが私のために用意しておられる道に導いてください」と祈ることができました。すると心の重荷が急に軽くなり目の前が明るくなって、見るものすべてが新鮮な感動に包まれました。

それからは、なんとかして神様のご愛にお応えしたいとの思いが自然に湧いてきて、「これから私はどのような形で神様のお役に立てるだろうか」と考えるようになりました。

*

これは、私が「自分の願いを押し通そうとするのか、

神様のみこころに従うことを選択するのか」を問われた出来事でした。そして、このことを通して神様のイメージが、遠くにおられて近寄りが見たい存在から、私の傍らをいつも歩んでくださる慕わしいお方に変わりました。こうした経験は、神様の御前に誠実に歩もうとする多くのクリスチャンが、信仰の成長のステップとして人生のどこかで通るものなかもしれません。その時は気づかなかったのですが、これが私のきよめの経験であり、献身の第一歩であり、ここから私の人生は大きく向きを変えて行ったように思います。

*

その後、私に祈りのリクエストが届きました。以前から支援していた伝道団体がスタッフが必要との内容でした。祈り始めると「私が行くのはどうだろうか」との思いが浮かびましたが、自分の気持ちだけで簡単に決めることはできません。数か月の祈りのあと、はっきりわかったことがあります。それは、私が神様に仕える道として伝道団体での働きが用意されていたということです。そこで「安心して行きなさい。あなたがたのしている旅は、主がお認めになっています」（士師記一八章6節）のみことばを受け取り、翌日には職場に退職願いを出しました。

こうして9年間勤めた看護師の仕事と母教会を離れ、新しい地での生活がスタートしました。この仕事は予想外に責任が重くて苦しみましたが「ここは神様が私を信仰の面で訓練するために置かれた場所」と理解し「逃げずに学んでいかないと次のステップには行けない」と思



うようくなりました。それから4年後「主に、心から喜び楽しんで伝え……」（申命記二八章47節、新改訳第二版）のみことばを通して、神様に仕えることの喜びと楽しみを体験させていただいた期間であったことに気づき、ここでの学びは終わりに近づいたと思いました。そして「あなたが遣わすところには、どこでも参ります」（ヨシユア記一章16節）と祈るようになりました。

それから3か月後に、神様は牧師である夫との出会いをお与えになりました。しかもその直前に「永遠のいのちに至る食物のために働きなさい」（ヨハネ六章27節）のみことばをもって再献身を迫られ、お従いする決心をしました。あとでわかったのですが、夫と同じことばに押し出されて神学校に行ったそうです。また、こんな私が牧師夫人としてやっていけるだろうかと迷っていること「幸いなことよ、弱っている者に心を配る人は」（詩篇四一篇1節）のみことばが示され、看護師も伝道団体での働きも牧師夫人も、人と人との間に立つ働きという点では同じだったと気づいて「神様は今の私に至るために導き養い訓練してくださったのだ」と納得できました。このようにして、結婚と同時にチャーチ・オブ・ゴッドの群れに加えていただき、現在に至っています。

*

もし私が自分の人生の主導権を握ったまま離さなかったら、今の私はここにいないと思います。神様のほうが私よりも私自身をよくご存知で、忍耐強く導き続けてくださいました。これからも神様と共に歩むことを喜び、お従いして行きたいと思えます。

2022年秋の聖化大会 聖会説教 現在オンラインで公開中

ケビン・ブラウン博士

Dr. Kevin Brown



2022年の聖化大会に講師としてお迎えしたケビン・ブラウン博士のご紹介です。ブラウン博士は2019年5月から米国ケンタッキー州にあるアズベリー大学の学長の要職に就いておられます。

ブラウン博士の簡単な経歴をご紹介します。インディアナ州の州都にあるインディアナポリス大学で理

学士と経営学修士を取得されています。その後、グラスゴー大学で博士号を取得されています。博士論文のテーマは「住宅統合の経済学と倫理」です。

先生のご家庭は5人。余暇にはご家族や友人と過ごす時間を大切に、ご家族と一緒に読書やスポーツ、キャンプを楽しんでおられるということです。



**Asbury
University**

Announces
Dr. Kevin J.
Brown as New
President



ケビン・ブラウン博士の聖会説教はYouTubeで!

説教I 聖書：列王記第二 10章 15～16節 「きよめ派教会の特徴は何か?」

ウェスレアン神学を受け継ぐ教会は、聖書の至上性、理性、伝統を重んじています。そして聖なる実践と習慣を強調しますが、その根底に主の恵みがあります。聖なる愛、キリスト者の完全は真の幸福をもたらすものです。

<https://youtu.be/d75fvTUC4Oo?t=352> (ジョン・ウェスレーに学ぶ会より)

説教II ヨハネの福音書 10章 7～10節 「きよめ派教会の特徴」

聖書は罪の現実について明言しています。旧約では不法行為、ねじれ、邪悪さ、新約では罪は的外れ、故意の違反、不信仰と表現されます。罪は霊的病気であり、罪を告白し、悔い改めることで豊かな人生を送れるのです。

https://youtu.be/_csMci5txc8?t=1186 (東海聖化大会より)

説教III ヨハネの福音書 1章 35～42節 「ホーリネス：愛の命令」

ホーリネスとは愛の命令に生きること。愛とは自分のために他人を犠牲にするのではなく、他人のために自分を犠牲にすることです。十字架を見あげ、御国を待ち望んで生きる時、愛の命令に従って生きることができます。

<https://youtu.be/Oi22ar46HPU?t=1326> (関東聖化大会より)

説教IV マタイの福音書 10章 28節 「知恵：恐れることの命令」 (公開準備中)

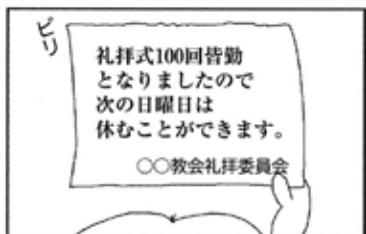
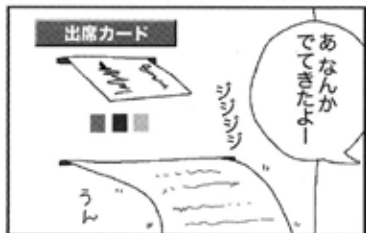
恐怖の概念は信仰に反します。霊的成長を阻害し、決意を弱め、私たちを創造主から遠ざけ、有毒な恐れと言われます。しかし、神様を畏れること、主を畏れて生きることこそ、最も知恵に満ちた幸いな人生なのです。

説教V コリント人への手紙第一 6章 19～20節 「クリスチャン生活を導く方向性としてのホーリネス」

私たちの人生には目的、目標があります。エペソ 2章 10節にあるように、人生はきよさという方向性を持って生きることが幸いなのです。主イエスは私たちを豊かな人生、本当にいのち溢れる人生へと招いておられます。

<https://youtu.be/r4YV2Vy3TdQ?t=2081> (関東聖化大会より)

直次郎 かなりおとく (2)



©富無尽蔵

JHA事務局からのお知らせ

★各交友会より最新情報のご提供をよろしくお願いいたします。日本聖化協力会宛にメールでお知らせください。
→ kja1985@aria.ocn.ne.jp

★「聖化誌」は財政的に許されれば今後も紙媒体で発行する予定です。PDF版はHPからダウンロードできます。バックナンバーもありますので、ぜひご利用ください。

★日本聖化協力会の振替口座をお知らせします。ゆうちょ銀行 00180-2-281255「日本聖化協力会」です。献金の送付などにもご利用ください。

★首都圏ではコロナは依然として要注意です。そのためにテレワークが続いています。お茶の水の事務所が不在の場合は、メールでご連絡ください。

今年の聖化大会の講師は、各交友会で決めます

恵み溢れる聖化大会に

今年は海外からの講師をお呼びしませんでしたので、各交友会で講師を決めていただきます。ようやくコロナも落ち着いてきました。オンラインを併用しつつも対面で聖化大会が開催できることを期待しています。

各聖化大会の日程や会場は次ページに一覧があります。ぜひご参加ください。オンラインの対応もあると思います。これもご利用ください。



News

日本福音連盟 (JEF) オンライン開催 埼玉大会・総会のご案内

2023年6月19日(月)～20日(火)、埼玉県坂戸市で開催いたします。会場は日本ホーリネス教団 坂戸教会。
テーマは「交わりの回復」です。聖会は19日(月)夜7時～
YouTubeは、<https://youtube.com/live/bsS1ECRRbt?feature=share>

続々と、電子書籍化を進めます！

Amazon Kindleストアで発売中です






電子書籍「エマオの道で」を販売中です。ご好評をいただいている「聖化の説教 旧約編I」「聖化の説教 旧約編II」「聖化の説教 新約編」の3巻も電子書籍化しました。Amazon Kindleストアで検索し、ぜひご購読ください。

2023年に開催される各地の聖化大会

| | | | |
|-----------|----------|-----------------------------|------------------|
| 北海道聖化大会 | 5/16 | 工藤弘雄師 | 北海道クリスチャンセンター |
| 宮城聖化大会 | 11/3 | 小平牧生師 | 対面/Zoomのハイブリッド |
| 山形聖化大会 | 11/3 | 山崎 忍師 | ウェスアン・ホーネス山形南部教会 |
| 栃木聖化大会 | 5/21 | 藤本 満師 | 日本ホーネス教団栃木教会 |
| 関東聖化大会 | 10/15-17 | 小平牧生師/千代崎備道師 | インマヌエル中目黒教会 |
| 東海聖会 | 6/24-25 | 大頭眞一師 | 活けるキリストー麦教会 |
| 東海聖化大会 | 秋に開催予定 | 詳細は未定 | |
| ウェスレーに学ぶ会 | 5/26 | 鎌野かをり師/小暮智久師 蔦田聡毅師/大沢恵太師 | 救世軍セントラルホール |
| ウェスレーに学ぶ会 | 10/20 | 松木 勝師 | 未定 |
| 備前聖化大会 | 10/22 | 坪内信治師 | 日本イエス・キリスト教団香登教会 |
| 四国聖化大会 | | | 問い合わせ中 |
| 九州聖化大会 | 10/22 | 塩屋弘先生 | 問い合わせ中 |

聖化の説教 全3巻 (旧約編2巻、新約編1巻)

| | | |
|--|---|---|
|  <p>旧約編 I 定価 1,650 円 (税込)</p> <p>創世記からエ ステル記まで、聖 書の英雄的な行 動や惨めな失敗、 信仰の輝きが…。</p> |  <p>旧約編 II 定価 1,650 円 (税込)</p> <p>ヨブ記からマラ キ書まで、知恵文 学、詩歌、預言者 によって語り継が れた聖化の恵み。</p> |  <p>新約編 定価 1,980 円 (税込)</p> <p>新約聖書の各 巻から 25 の説教 で聖化の恵みに 触れることができ る待望の説教集。</p> |
|--|---|---|

お近くの聖化交友会にご加入ください

聖化交友会には教団、教会、個人でお加わりいただけます。聖化の恵みを私たちの心に、そして教会に、さらにお住まいの地域に広げていきましょう。詳細は各地域の聖化交友会にお問い合わせください。http://jha.christ.gr.jp/

北海道聖化交友会／宮城聖化交友会／山形聖化交友会／栃木聖化交友会／関東聖化交友会／東海聖化交友会／ジョン・ウェスレーに学ぶ会／岡山聖化交友会／四国聖化交友会／九州聖化交友会

エマオの道で (改訂新版)

デニス・F・キンロー著

定価 3,750円(税込)

2017 になりました。に、恵みのことが身近に語られます。使用聖書が新改訂され、2017 になりました。に、恵みのことが身近に語られます。使用聖書が新改訂され、



編集後記

聖化 69 号をお届けします。コロナも全国的には沈静化してきています。教会も徐々に活動を再開しておられるように聞いております。お陰さまで3月の評議員会、聖化フォーラムは対面で開催することができました。オンラインでの参加も可能でしたが、久しぶりに先生方のお顔を拝見し、うれ

しい気分になりました。フォーラム後のグループ・ディスカッションは閉塞感を打ち破るような勢いを感じました。やはり思いっきりしゃべりたいという交わりに飢えていたのでしょうか。秋の聖化大会、ブラウン先生の説教をオンラインで自由に聞けます。これはぜひご活用頂きたいと思います。(矢木)

聖化 No.69 2023年4月28日発行